

# 友の会通信

2004  
Vol.  
**11**

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～



## 友の会野鳥観察会

2004年7月11日(日)実施  
(於 小根山森林公園)

### 野鳥の鳴き声を求め 森林散歩

心配された天気も、観察会の始まる頃には、晴れわたり絶好の日和となりました。

参加者は総勢23名、2班に分かれ鳥獣資料館前を9:30にスタートしました。

講師には、日本野鳥の会群馬支部より野鳥観察のエキスパート、白石 寛爾、阿部 明子、清水 伸彦の三氏があたりました。

緑が深くなった観察路で野鳥のサエズリを聞き、その時々々の鳴き方から、繁殖活動に伴うもの、なわばり宣言によるもの、食べ物を得るなど、独特の節回しで鳴くなどの助言を受けながら、2kmほどの山道を野鳥の鳴き声を求め、楽しく散策しました。

探鳥後の鳥合せで、15種類ほどの鳴き声を確認できました。この活動を通し、今後、今まで以上に、幅広く自然に接することができるような気がし、大変充実した研修会になりました。



# 友の会野鳥観察会 参加者の声



**講**師の方が分かりやすく解説してくれて大変良かった。自分が解説する側に回ったらマネしたいことが沢山あった。

**色**々な鳥の鳴き声が聞こえて身近な所にこんなにいるなんて知りませんでした。特にキツツキの穴にはびっくりでした。今度山に行く時は鳥の鳴き声にも注意して歩きたいです。

**白**石先生の後を元気よくついて行き、特に感動したのは見晴らしの園地で、ノスリが2羽いて双眼鏡でいつまでも飛ぶようすをみていました。

**雨**模様が俄に晴れ上がり、キビタキのよく通る美しいさえずりにスタート。ホオジロの"サッポロラーメン、ミソラーメン"とのさえずりには楽しくなりました。蝉の音が盛んで、小さな地鳴きが聞きとりづらいが講師の丁寧な説明で数多くを確認出来、姿がなかなか見えないのは残念でしたがとても癒され、ありがとうございました。

**雨**が降っていたけれど途中雨もやみ爽快な中バードウォッチングを楽しむことができた。自然の中で一時の休息と共に小鳥のさえずる声が何とも心地よく楽しかったです。

## 自然だより ～初見・初聞・開花～

生物名	分類	観測日	観測場所	観測者
ウグイス	初音	2月29日 15:00	高崎城山小付近	大山 隆昌
ウグイス	初音	3月 7日 10:00	氏神様の林の中	
ツバメ	初見	3月11日 17:30	JR新前橋駅ホーム	北爪 二郎
ツバメ	初見	3月14日 午前	家の近くの人家の軒	
モンシロチョウ	初見	4月26日 13:00	家のキャベツ畑	

お名前の記入がありませんでした。お心当たりの方は、ご連絡ください。

### コメント

ウグイスの初音をきいた瞬間、ギリシャ神話に登場する女神デメテルとその娘ペルセポネーにまつわる物語が、私の脳裏にひらめきました。

大山 隆昌(会員番号16-015)

### コメント

桜の満開は、生物季節観測平均値(前橋)より8日早かった。しかし、ツバメの初見は8日も遅れた。なぜ? 自然には、不思議がいっぱいつまっている。さあ、自然観察にかけよう。

大山 隆昌(会員番号16-015)

友の会では、みなさまからの自然だよりをお待ちしております。

# 第21回企画展 「地球の贈りもの鉱物資源」 展示解説会

講師：学芸グループ 指導主事 金澤 芳彦  
期 日：3月28日(日)  
10:30～11:20  
会員参加者：17名

春休み最初の日曜日で、一般のお客様も多く混雑した中で展示会説会が行われました。会員以外の数名の参加者も得て、20名を超える方に説明して下さったのは、この企画展の主担当である金澤芳彦指導主事でした。解説は、鉱物のでき方から始まり、群馬の鉱山や鉱物、身近な生活用品に使われている鉱物、地下資源としての鉱物など鉱物の大切さを学ぶよい機会となりました。



身近な物に鉱物がこんなにたくさん使われているとは思っていませんでした。鉱物は宝石のように貴重な物しか想像できなかったけれど、違う意味で貴重だとわかりました。また、企画展の解説には行きたいです。  
湯澤 太路（会員番号16 - 099）

企画展の時はいつも「友の会展示解説会」に行こうと決めています。展示にまつわるいろいろなエピソードを企画して下さった方から直接お話を伺える絶好のチャンスですから。

今回はパンフレットを見てのイメージですと、石油・石炭・天然ガスなどやあこがれるな宝石・原石などでしたが、本当はもっと身近な今の日常生活に欠かせない物ばかりでした。いわれてみればと思いつつも、展示コーナーの最後のリビングやキッチンセット。そのもの一つ一つが「地球からの贈りもの」でした。身近すぎて「地球の贈りもの」を忘れてしまいがちですが、改めて原材料は何か、加工するエネルギーは何かを考えさせていただきました。

今、リサイクルやエコロジーを誰もが考えますが、現在の豊かな生活を支えているのは、「地球からの贈りもの」と実感させていただいた、わかりやすい解説会でした。

湯澤 玉枝（会員番号16 - 098）

## 友の会講演会

平成16年5月15日(土) 講師：長谷川善和館長 参加者27人

友の会総会に合わせ講演会を開催しました。長谷川善和館長に、「飛べなくなったアンナカコバネハクチョウ - 1200年前の謎 - 」というテーマで講演していただきました。

安中市の碓氷川河床から発見された鳥類化石が、研究の結果ハクチョウの仲間であることがわかったということでした。しかし、翼の骨の長さは非常に短く、おそらく飛ぶことはできなくなったであろうと推定したということです。説明には、化石から復元した骨格と現在のハクチョウの骨格を用意していただき、比較しながらわかりやすく説明していただきました。講演終了後には、実物化石も観察させていただき、参加者は満足の様子でした。





## 平成16年度「友の会総会」開催

5月15日(土) 参加者27名

平成16年度の総会が、5月15日午後2時から学習室で行われました。原会長をはじめ、多くの役員の方が出席し、昨年度の事業報告や会計報告、今年度の事業案や予算案を審議し、決定しました。今年度より、賛助会員の会費を20,000円から10,000円としました。より多くの賛助会員の入会を期待しています。

### 平成15年度役員

会 長	原 浩一郎	運営委員	市川 悦老	顧 問	横田 英一
副 会 長	池下 隆雄		横田 衛		青木 道雄
	川原 英雄		森平 利政	事 務 局	佐藤 忍
監 事	山田 利和		角田 寛子		野口 喜充
	徳江 紀		柚木 郁		野村 正弘
			堀越 友子		



## 友の会 視察研修旅行へ参加しよう!

11月21日(日)

今年度の「友の会視察研修旅行」は、「船の科学館」と「日本科学未来館」です。募集案内を後日配布しますので、案内が届きましたら是非お申し込み下さい。募集人数は45名です。(応募者多数の場合は抽選です)

### 視察先

**船の科学館**... 古来より海を利用し、海に資源を求めて海洋国として発展して来た我が国の海事諸産業の様子を紹介する博物館です。本館に加え、海をテーマとした「シー&シップワールド」や昭和30年代の青森駅の様子を体感できる羊蹄丸に加え野外展示場も設置されています。

**日本科学未来館**... 宇宙、地球、人間という大きな視野で科学技術を捉え、「地球環境とフロンティア」「技術革新と未来」「情報科学技術と社会」「生命の科学と人間」という4分野のテーマがあります。それぞれのテーマごとに、第一線の科学者・技術者が中心となって、最先端の科学技術を誰にでもわかりやすく楽しめる展示となっています。最先端の科学技術を体験できます。

期 日 平成16年11月21日(日)

\*大型バスで行うツアーです。



## 新出版物の紹介



ビヨウブツで発売中

## 「海の王者サメ」

第2回企画展図録

一般 500円 会員 450円

## 会員名簿

<b>家族会員</b>	佐藤 昭二	吉田喜代実	今井 誠司	松本 秀彦	岸田 浩	児玉 一恵	阪本 俊英	岡野 弘行	柳沢 悟
	伊勢川 聰	湯沢 範道	黒瀨 健一	吉田 満	北川真理子	佐藤 昭二	吉田 満	北川真理子	伊勢川 聰
<b>個人会員</b>	萩原 哲也	吉本 明弘	岡田 健美	大山 隆昌	佐藤 七三	鳥羽千太郎	剣持 雅信	山本 晃	里見 尚樹
	蜂須賀克明	白石 雄一	大塚 隆幸	市川 浩也	新井 英樹	神宮司洋一	飯塚 正明	中島トヨ子	石黒 裕子
	須賀 裕子	野口 実	佐藤 直美	須賀 裕子	野口 実	佐藤 直美	須賀 裕子	野口 実	佐藤 直美

**賛助会員** 原株式会社 横田 英一 群馬ゼロックス株式会社(仲手川 実) 富岡ロータリークラブ 市川会計事務所  
群馬トヨタ自動車株式会社 有限会社山田会計 川原 英雄 初山歯科医院

順不同 敬称略 平成16年8月6日現在

## 編集後記

「友の会」では、植物・地層・化石・野鳥などをテーマとして野外観察会を催してきましたが、3年目を迎え、ようやく主催事業として定着してきたように受けられます。今年の秋には地層・化石の観察会が予定されていますが、下仁田町で見られるクリップ(根なし山)のような野外観察会に適した地域素材もたくさんありますので、順次とりあげていってらよいのではないかと考えています。ご意見やご要望をお寄せ下さい。 『友の会通信』編集委員 森平利政